



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場会社名 ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6544 URL https://www.jes24.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 石田 克史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員CFO (氏名) 今村 公彦 TEL 03-6262-1625
 経営管理本部長

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	24,521	14.9	3,612	32.9	3,715	37.4	2,362	38.9
2020年3月期	21,339	19.2	2,717	33.6	2,703	35.1	1,700	34.4

(注) 包括利益 2021年3月期 2,366百万円 (38.7%) 2020年3月期 1,690百万円 (38.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	27.51	26.67	30.7	21.4	14.7
2020年3月期	21.03	19.64	37.6	21.0	12.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △0百万円 2020年3月期 △19百万円

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	20,473	10,505	50.2	115.97
2020年3月期	14,297	5,177	35.9	63.34

(参考) 自己資本 2021年3月期 10,271百万円 2020年3月期 5,135百万円

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,018	△3,955	1,460	1,660
2020年3月期	1,963	△2,454	593	1,145

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	-	-	-	18.00	18.00	729	42.8	16.1
2021年3月期	-	-	-	12.00	12.00	1,062	43.6	13.4
2022年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の年間配当につきましては当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2. 2021年3月期における1株当たり期末配当金については、11円から12円に変更しております。詳細については、本日(2021年5月12日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,400	13.1	1,750	8.2	1,800	5.7	1,120	1.3	12.64
通期	27,000	10.1	4,100	13.5	4,200	13.0	2,600	10.0	29.35

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	88,574,000株	2020年3月期	81,077,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期	230株	2020年3月期	172株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	85,867,858株	2020年3月期	80,884,308株

（注）当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

（参考）個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,365	9.1	2,033	1.1	2,109	4.7	1,719	27.8
2020年3月期	4,916	66.0	2,011	424.6	2,015	462.1	1,345	441.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	20.02	19.41
2020年3月期	16.63	15.54

（注）当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	15,433	7,553	48.9	85.28
2020年3月期	10,435	3,067	29.2	37.54

（参考）自己資本 2021年3月期 7,553百万円 2020年3月期 3,043百万円

（注）当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、足下の景気動向には持ち直しの動きが一部で見られるものの、依然として厳しい状況にあることから、企業の経費削減ニーズは今まで以上に高まると予想されております。

エレベーター等のメンテナンス業界においては、金融緩和政策による低金利等の下支えに伴う分譲マンション戸数の増加等の要因により、市場は緩やかな拡大傾向にあります。

このような市場環境の下、当社グループは、独立系メンテナンス会社への契約切り替えによる企業のコスト削減ニーズの急増に応えるため、これまで以上に人員の拡充・営業体制の強化を進めております。加えて、大型法人契約の推進、関西・東海エリアでの新規拠点の開設による営業エリアの拡大、同業他社のM&Aによるシェアアップ等を行ってまいりました。また、JES Innovation Center（通称JIC）の隣地に高層のテストタワー、R&Dセンターなど開発関連部署を集約したJES Innovation Center Lab（通称JIL）が竣工いたしました。JILの竣工により、当社における研究開発体制の一層の強化を図ってまいります。

保守・保全業務については、保守契約台数が堅調に推移し、当連結会計年度の保守・保全業務の売上高は17,476百万円（前年同期比16.3%増）となりました。リニューアル業務については、事業拡大に備えた営業体制の強化や部品供給停止物件の提案強化等により、当連結会計年度のリニューアル業務の売上高は6,330百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は24,521百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益は3,612百万円（前年同期比32.9%増）、経常利益は3,715百万円（前年同期比37.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,362百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

当社グループは、「メンテナンス事業」の単一セグメントであります。売上高を売上種類別（保守・保全業務、リニューアル業務及びその他）に示すと、以下の通りです。

（単位：百万円）

売上種類	2021年3月期			2020年3月期	
	金額	構成比率	対前期増減率	金額	構成比率
保守・保全業務	17,476	71.3%	16.3%	15,030	70.4%
リニューアル業務	6,330	25.8%	13.0%	5,599	26.2%
その他	714	2.9%	0.8%	709	3.4%
合計	24,521	100.0%	14.9%	21,339	100.0%

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べ6,176百万円増加し、20,473百万円となりました。これは主に、有形固定資産が2,502百万円増加、のれんが1,396百万円増加、受取手形及び売掛金が824百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債については、前連結会計年度末と比べて848百万円増加し、9,968百万円となりました。これは主に、未払法人税等が337百万円増加、買掛金が275百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が208百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末と比べて5,328百万円増加し、10,505百万円となりました。これは主に、資本金が1,759百万円増加、資本剰余金が1,759百万円増加、利益剰余金が1,632百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比べて514百万円増加し、1,660百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3,018百万円(前年同期は1,963百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3,725百万円、減価償却費810百万円等の増加要因に対し、売上債権の増加額627百万円、法人税等の支払額1,006百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,955百万円(前年同期は2,454百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,519百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,117百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,460百万円(前年同期は593百万円の獲得)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入3,496百万円等の増加要因に対し、短期借入金の純減額1,061百万円、長期借入金の返済による支出1,217百万円等の減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による国内および海外の経済に対する影響を正確に予測することが現時点で困難であるため、きわめて不透明な状況にあります。

当社グループが属するエレベーター等のメンテナンス市場におきましては、顧客におけるコスト意識の高まりに加え、エレベーター等の運行の安全への要求が強まっていくものと想定しております。

このような事業環境において、当社グループは企業理念である「何よりも安全の為に。」「見えないからこそ手を抜かない。」「信頼を礎に。」のもと、メンテナンス品質の向上を図るとともに、メーカー主導の価格体系の見直しによる「適正価格の実現」を目標に掲げ、引続き持続的な成長を目指してまいります。

上記を踏まえ、翌連結会計年度につきましては、以下のとおり業績を予想しております。

2022年3月期 連結会計年度業績見通し(2021年4月1日～2022年3月31日)

売上高	27,000 百万円
営業利益	4,100 百万円
経常利益	4,200 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,600 百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,145,583	1,674,107
受取手形及び売掛金	2,781,798	3,606,693
仕掛品	40,431	47,584
原材料及び貯蔵品	1,816,533	2,126,781
その他	574,920	720,128
貸倒引当金	△2,799	△6,998
流動資産合計	6,356,468	8,168,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,360,687	5,318,008
工具、器具及び備品	1,924,607	3,179,330
土地	375,514	694,028
建設仮勘定	1,199,857	732,760
その他	425,126	193,848
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,613,296	△1,942,929
有形固定資産合計	5,672,496	8,175,047
無形固定資産		
のれん	265,342	1,661,929
ソフトウェア	749,760	888,107
その他	29,496	60,022
無形固定資産合計	1,044,599	2,610,060
投資その他の資産		
投資有価証券	27,985	120,005
敷金及び保証金	415,083	492,244
繰延税金資産	517,023	697,406
その他	287,912	261,628
貸倒引当金	△24,346	△50,948
投資その他の資産合計	1,223,659	1,520,335
固定資産合計	7,940,755	12,305,442
資産合計	14,297,223	20,473,739

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	695,229	970,930
短期借入金	2,346,500	2,038,180
1年内返済予定の長期借入金	737,304	946,140
未払金	566,252	678,324
未払法人税等	601,168	938,528
未払消費税等	323,470	365,489
賞与引当金	503,500	614,130
その他	578,883	690,857
流動負債合計	6,352,310	7,242,580
固定負債		
長期借入金	1,814,174	1,418,034
退職給付に係る負債	693,074	865,134
資産除去債務	250,950	393,532
その他	9,624	49,103
固定負債合計	2,767,823	2,725,803
負債合計	9,120,133	9,968,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,321	2,460,276
資本剰余金	1,136,623	2,896,577
利益剰余金	3,381,715	5,014,612
自己株式	△112	△209
株主資本合計	5,218,548	10,371,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	910	3,035
為替換算調整勘定	△54,537	△67,544
退職給付に係る調整累計額	△29,267	△35,102
その他の包括利益累計額合計	△82,894	△99,611
新株予約権	23,218	—
非支配株主持分	18,217	233,710
純資産合計	5,177,089	10,505,355
負債純資産合計	14,297,223	20,473,739

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	21,339,756	24,521,058
売上原価	13,523,490	15,090,029
売上総利益	7,816,265	9,431,028
販売費及び一般管理費	5,098,516	5,818,805
営業利益	2,717,749	3,612,223
営業外収益		
保険解約返戻金	14,945	110,365
その他	14,620	26,335
営業外収益合計	29,565	136,701
営業外費用		
支払利息	13,668	11,813
株式交付費	—	14,573
その他	30,122	7,084
営業外費用合計	43,791	33,471
経常利益	2,703,523	3,715,453
特別利益		
固定資産売却益	470	730
段階取得に係る差益	—	14,972
特別利益合計	470	15,703
特別損失		
減損損失	19,887	—
固定資産除却損	454	2,427
その他	1,849	3,027
特別損失合計	22,190	5,454
税金等調整前当期純利益	2,681,803	3,725,702
法人税、住民税及び事業税	1,044,751	1,432,916
法人税等調整額	△54,482	△89,519
法人税等合計	990,269	1,343,396
当期純利益	1,691,534	2,382,306
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△9,076	19,715
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700,610	2,362,590

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,691,534	2,382,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	910	2,124
為替換算調整勘定	△9,081	△12,570
退職給付に係る調整額	7,172	△5,834
持分法適用会社に対する持分相当額	△262	—
その他の包括利益合計	△1,260	△16,280
包括利益	1,690,273	2,366,025
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,699,380	2,345,873
非支配株主に係る包括利益	△9,106	20,151

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	671,195	1,107,497	2,204,884	△112	3,983,464
当期変動額					
新株の発行	4,056	4,056			8,112
新株予約権の行使	25,070	25,070			50,140
剰余金の配当			△523,779		△523,779
親会社株主に帰属する当期純利益			1,700,610		1,700,610
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	29,126	29,126	1,176,831	—	1,235,084
当期末残高	700,321	1,136,623	3,381,715	△112	5,218,548

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	—	△45,223	△36,440	△81,663	23,218	12,244	3,937,263
当期変動額							
新株の発行							8,112
新株予約権の行使							50,140
剰余金の配当							△523,779
親会社株主に帰属する当期純利益							1,700,610
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	910	△9,313	7,172	△1,230	—	5,972	4,742
当期変動額合計	910	△9,313	7,172	△1,230	—	5,972	1,239,826
当期末残高	910	△54,537	△29,267	△82,894	23,218	18,217	5,177,089

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	700,321	1,136,623	3,381,715	△112	5,218,548
当期変動額					
新株予約権の行使	1,759,954	1,759,954			3,519,908
剰余金の配当			△729,693		△729,693
親会社株主に帰属する当期純利益			2,362,590		2,362,590
自己株式の取得				△97	△97
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	1,759,954	1,759,954	1,632,897	△97	5,152,708
当期末残高	2,460,276	2,896,577	5,014,612	△209	10,371,256

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	910	△54,537	△29,267	△82,894	23,218	18,217	5,177,089
当期変動額							
新株予約権の行使							3,519,908
剰余金の配当							△729,693
親会社株主に帰属する当期純利益							2,362,590
自己株式の取得							△97
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,124	△13,006	△5,834	△16,716	△23,218	215,492	175,557
当期変動額合計	2,124	△13,006	△5,834	△16,716	△23,218	215,492	5,328,265
当期末残高	3,035	△67,544	△35,102	△99,611	—	233,710	10,505,355

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,681,803	3,725,702
減価償却費	634,995	810,387
のれん償却額	28,868	69,530
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16,708	26,558
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,077	100,716
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	83,034	81,182
受取利息及び受取配当金	△3,547	△703
支払利息	13,668	11,813
持分法による投資損益 (△は益)	19,273	872
固定資産除却損	454	2,427
減損損失	19,887	—
保険解約返戻金	△14,945	△110,365
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△14,972
売上債権の増減額 (△は増加)	△182,159	△627,157
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△183,293	△312,085
未収入金の増減額 (△は増加)	△287,438	21,895
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,516	244,088
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38,900	23,342
その他	27,583	△17,509
小計	2,942,388	4,035,723
利息及び配当金の受取額	3,505	703
利息の支払額	△12,546	△11,937
法人税等の支払額	△970,262	△1,006,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,963,085	3,018,188
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△161	△99,593
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△217,747	△1,117,055
有形固定資産の取得による支出	△1,865,586	△2,519,930
無形固定資産の取得による支出	△387,181	△394,312
保険積立金の解約による収入	28,069	236,246
敷金及び保証金の差入による支出	△14,827	△77,385
その他	2,863	16,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,454,573	△3,955,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△292,500	△1,061,588
長期借入れによる収入	2,350,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△899,932	△1,217,304
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込による収入	—	10,000
非支配株主からの払込みによる収入	15,079	—
配当金の支払額	△523,779	△729,693
新株予約権の行使による株式の発行による収入	50,140	3,496,690
その他	△105,029	△38,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	593,978	1,460,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,548	△8,163
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	99,942	514,624
現金及び現金同等物の期首残高	1,045,641	1,145,583
現金及び現金同等物の期末残高	1,145,583	1,660,207

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当連結会計年度において、セイコーエレベーター株式会社、株式会社NSエレベータ、株式会社三好エレベータ、株式会社関西エレベーター、株式会社コスモジャパン、株式会社長野エレベーター、東京エレベーター株式会社の株式をそれぞれ取得したため、連結子会社としております。

また、当連結会計年度において、ジャパンパーキングサービス株式会社を新たに設立したため、連結子会社としております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、メンテナンス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	63.34円	115.97円
1株当たり当期純利益	21.03円	27.51円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	19.64円	26.67円

(注) 1. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,700,610	2,362,590
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,700,610	2,362,590
普通株式の期中平均株式数(株)	80,884,308	85,867,858
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	5,686,815	2,713,175
(うち新株予約権(株))	(5,686,815)	(2,713,175)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。